

授業科目	*ソーシャルワークの基盤と専門職					実務家教員担当科目	○		
単位	2	履修	必修	開講年次	1	開講時期	前期		
担当教員	今村 浩司								
授業概要	<p>現代社会の福祉的ニーズは、多様化する社会と変化の激しい時代の中で、複雑化しているのが現状となっています。それに対応する福祉専門職（ソーシャルワーカー）である社会福祉士や精神保健福祉士等は、幅広い視野と多面的な視点等の確かな力が求められています。</p> <p>そこで本講では、医療機関や矯正施設においてソーシャルワークの実践活動を展開してきた実務家教員として、まず社会福祉専門職の現状について解説していきます。そして、総合的かつ包括的な相談援助（ソーシャルワーク）の理念と方法に関する知識と技術として、特に相談援助（ソーシャルワーク）に関連する基本的な部分の理念、概念、定義、意義等を解説し、1年後期に開講する「ソーシャルワークの基盤と専門職（専門）」につなぎます。</p> <p>さらには、よりリアリティ感を高めるため、社会福祉士専門職能団体等から外部講師を招聘して、社会福祉専門職の現状と魅力を伝えてもらう予定です。</p> <p>また、本講の理解度を確認するために、講義内において、確認テスト（小テスト）を行います。</p> <p>なお、授業の運営方法については、対面講義が困難な場合等は、ウェブ等を使用しての講義等に変更して実施することもあります。</p>								
授業形態	対面授業				授業方法	グループワーク			
学生が達成すべき行動目標									
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、説明できる。 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、説明できる。 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、説明できる。 								
理想的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 社会福祉士、精神保健福祉士の役割と意義について、理解したうえで説明できる。 相談援助に係る専門職と専門職倫理について、理解したうえで説明できる。 総合的かつ包括的な援助と多職種連携について、理解したうえで説明できる。 								
評価方法・評価割合									
評価方法			評価割合（数値）			備考			
試験			50%						
小テスト			20%						
レポート			10%						
発表（口頭、プレゼンテーション）			0						
レポート外の提出物			0						
その他			20%			講義中の発言・質問・参加姿勢等			
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング									
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	-	ナンバリング	WE21205J
学習課題（予習・復習）								1回の目安時間（時間）	
講義範囲のテキスト事前及び事後通読								4	
授業計画									

第 1 回	社会福祉の対象者と専門職① 資料を用いて、現代社会における課題を意識化する。
第 2 回	社会福祉の対象者と専門職② 現代社会における課題および地域での取り組みについて解説する。
第 3 回	社会福祉の対象者と専門職③ 現代社会の状況について事例等を用いて解説する。
第 4 回	社会福祉士・精神保健福祉士の役割と意義 社会福祉士及び精神保健福祉士法について解説する。社会福祉士および精神保健福祉士の役割と意義について解説する。
第 5 回	相談援助（ソーシャルワーク）の概念と範囲① ソーシャルワークに係る各種の国際定義について解説する。
第 6 回	相談援助（ソーシャルワーク）の概念と範囲② ソーシャルワークの構成要素について解説する。
第 7 回	相談援助（ソーシャルワーク）の概念と範囲③ ソーシャルワークの形成過程（ソーシャルワークの源流）について解説する。
第 8 回	相談援助（ソーシャルワーク）の概念と範囲④ ソーシャルワークの形成過程（ソーシャルワークの基礎確立期）について解説する。
第 9 回	相談援助（ソーシャルワーク）の概念と範囲⑤ ソーシャルワークの形成過程（ソーシャルワークの発展期）について解説する。
第 10 回	相談援助（ソーシャルワーク）の概念と範囲⑥ ソーシャルワークの形成過程（ソーシャルワークの展開期）について解説する。
第 11 回	相談援助（ソーシャルワーク）の概念と範囲⑦ ソーシャルワークの形成過程（ソーシャルワークの統合化とジェネラリスト・ソーシャルワーク）について解説する。
第 12 回	相談援助（ソーシャルワーク）の理念①（外部講師） ソーシャルワーカーと価値について解説する。
第 13 回	相談援助（ソーシャルワーク）の理念②（外部講師） 人権尊重と社会正義について解説する。
第 14 回	社会福祉専門職である、社会福祉士や精神保健福祉士の今後の展望
第 15 回	総まとめと質疑応答
テキスト	最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座 1 1 「ソーシャルワークの基盤と専門職」 [共通・社会専門] 中央法規 最新版 「コメディカルのための社会福祉概論」(第4版) 鬼崎信義、本郷秀和編 講談社
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	「社会保障」川村匡由編著 ミネルヴァ書房 本学図書館の担当教員（今村）の指定図書

	<p>月刊福祉や福祉新聞など 講義の進行状況に応じて、適時紹介します</p>
課題に対するフィードバックの方法	<p>試験、小テスト、レポート、講義貢献度、積極性、参加意欲も併せて評価します。その他については、具体的な実践場面を想定した実技指導（ロールプレイ等）やグループワークにて評価し、その内容をフィードバックします。</p>
学生へのメッセージ・コメント	<p>社会福祉士や精神保健福祉士の社会福祉専門職の具体的イメージを深めるために、公益社団法人日本社会福祉士会や、公益社団法人日本精神保健福祉士協会のウェブサイトをあらかじめ閲覧しておいてください。</p> <p>本講義は、福祉学科の中で福祉や保育や教育を学ぶための、基礎となる中核講義の1つです。また、社会福祉専門職の役割や業務は、計り知れないほど奥が深いものです。先ずは、社会福祉士や精神保健福祉士等の、「社会福祉専門職になる」という、何よりも強い心構えを持って講義に臨んでください。</p> <p>授業で学んだ内容については、ノート等を活用して整理して下さい。また、毎回講義の導入部分で、社会福祉に関するトピックスを提供しますので、新聞やインターネット、文献等を用いて必ず理解を深めて下さい。</p>

